


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																					
																																											
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内内で共有、実践している。	●		当社のあるべき姿を明文化し、社内の全社員が見えるところに掲示し、毎日唱和している。								8	9											17																		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		社外の弁護士・社会保険労務士と顧問契約し、随時勉強会をしている。取引保険会社の提供する法令順守研修等受講している。																			16																			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		社内チェック体制を整え、事務担当、上席、取引保険会社担当の、複眼で不正防止に取り組んでいる。																		10		16																		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		社外SDGsコンサルタントとの定期勉強会を実施している。社内でも代表勤務をSDGs担当を決め、当社が社会や環境に及ぼす影響について検討対応している。																				16																		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		社外顧問弁護士との勉強会を年に1回実施している。									8.2 8.3	9										16																		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報はすべてクラウドシステム上で管理し、パソコンは二重ロックをかけ、紛失の可能性を低減するため、ペーパーレス化を推進している。																				16																		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		取引保険会社と毎日業務改善や業務管理について対話し、社外への影響を考えた対応に心がけている。																			16	17																		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10								12	13	14	15	16	17														
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●													9								11			13.1		16	17													
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●													8	9												16	17													
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2				5								8				12	13	14	15	16	17										
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		社外顧問弁護士・社会保険労務士と各種ハラスメントが発生しないよう定期的にミーティングと勉強会を実施している。																								16.1 16.2 16.7														
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		アルコールチェックは勿論のこと、保険代理店を生業としているので、お客様の所で労働安全や事故防止等の研修講師が出来るよう研鑽し実践している。																					3			8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		成果報酬制度を運用し、雇用形態に関わらず、成果に見合った報酬を支払っている。																									8.5 10.2 10.3													
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業時間の削減への意識づけのため、残業が必要な場合は事前申請制にしている。																									8.5 8.8	10.3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		資格取得補助制度を設け、取得に関する費用の一部負担を行っている。またキャリアアプランについて定期的にミーティングを行い、目指す能力開発を共有している。																									8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		定期健康診断時のオプション検査を費用負担することで、健康への意識づけと早期発見による健康維持に取り組んでいる。																									8		17											
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		フレックスタイム制、昼休みの延長、在宅勤務制度を採り入れ、子育て世代の女性でも働きやすい環境を作っている。また、女性の幹部社員登用を進めている。																									4.4	5.1 5.5	8.5		10.2 10.3		16.7							
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		テレワーク、時差出勤、昼休みの延長している。また会議にはWEB会議を導入している。																										3			8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●																																8	9.1		11	12				
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																																	3	4			8	9		

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物が出ないように、ペーパーレス化、マイカップの使用を推奨している。適切に廃棄物の分別をし、リサイクル等の推進に取り組んでいる。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		営業車をハイブリッド車にし、ガソリン使用料の削減に取り組んでいる。【予定】今後、エネルギー使用料を把握する取組として簡易計算シートを活用していく(2024年8月実施予定)。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		社内でクールビズを推進し、エアコンによる温室効果ガス排出量を削減するよう取り組んでいる。また二重サッシを取り入れ、室温のコントロールをしている。【予定】今後温室効果ガス排出量を把握する取組みとして簡易計算シートを活用していく(2024年8月実施予定)。		2.4					7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		社内で使うプリント用紙はリサイクル用紙を使用している。また、社員はマイカップを使用し、廃プラ削減に取り組んでいる。						6.6							14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		コピー用紙で使用できるものは裏面も利用している。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		節水シールを貼り、意識向上に取り組んでいる。また、社内の観葉植物には雨水を利用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		コピーには再生用紙を利用している。トイレトーパーも再生紙を利用したものを購入している。									9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2				6.4					12.3		14	15				17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		社内に多くの観葉植物を配置し、緑の創出に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			社内ではマイカップを使用し、プラスチックごみの削減に取り組んでいる。										12.2 12.5			14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

